用語解説（五十音順）

ア 行

■アセットマネジメント
資産管理手法の一つで、水道事業では、施設の維持管理（保全管理）の適正化を行って、施設の延命化を図り、生涯費用の最小化と費用の平準化を目指す維持管理の方法を言う。

■1 日最大配水量
年間の 1 日配水量のうち最大のもの。

■1 日平均配水量
1 日当たりの配水量の平均値のこと。年間総配水量を年日数で除したもの。

■インバータ制御（inverter control）
インバータとは、直流電圧を交流電圧へ変換する装置をいう。逆に交流電圧を直流電圧へ変換する装置をコンバータと呼ぶが、二つを総称してインバータと呼ぶ場合が多い。出力周波数を任意に可変できるため、ポンプやエアコン等電動機の回転速度制御に用いられ、無段階でスムーズな制御が可能、回転数にかかわらず95%以上の高効率運転、始動電流が比較的少ない等の長所があり、回転数制御方式の主流となっている。

■飲料水供給施設
50 人以上（地下水等汚染地域にあっては、この限りではない。）100 人以下の給水人口に対して、人の飲用に供する水を供給する施設等の総体をいう。

カ 行

■簡易水道事業
計画給水人口が 101 人以上 5,000 人以下である水道によって水を供給する水道事業をいう（水道法 3 条 3 項）。施設が簡易ということではなく、計画給水人口規模が小さいものを簡易と規定したものである。

■危機管理（クライシスマネジメント）
不測事態への適切対応を目的として、事故や危機的な状況が発生した後の安全性の確保を図る活動が即刻開始できるように前もって準備しておくことをいう。

■起債（企業債）
地方公営企業が行う建設、改良等に要する資金に充てるために起こす地方債（借入金）をいう。

■給水原価
供給原価ともいう。有収水量 $1m^3$ 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもの。

■供給単価
給水単価ともいう。有収水量 $1m^3$ 当たりについて、どれだけの収益を得ているかを表すもの。

■業務指標（PI：Performance Indicator）
水道業務の効率を図るために活用できる規格の一種であり、水道事業体が行っている多方面にわたる業務を定量化し、厳密に定義された算定式により評価するもの。

■緊急遮断弁
地震や管路の破裂などによる異常流量を検知するとロックやクラッチが解除され、自動的に自重や重錘または油圧式や圧縮空気を利用して緊急閉止できる機能を持つバルブ。

■クリプトスポリジウム（Cryptosporidium）
胞子虫類に属する病原性生物のひとつ。水源等が汚染され、飲料水や水道水に混入した場合、塩素消毒の効果が無くて、集団的な下痢症状を発生させることがある。

■減価償却費
固定資産の取得価額を法定の耐用期間に配分し、年間の費用とされる額であり、その算出は定額法と定率法の 2 つの方法がある。

■建設副産物
建設工事に伴って副次的に得られる物品のことであり、再生資源や廃棄物を含んでいる。水道事業で発生する建設副産物としては、残土、砕石、アスファルト混合物、コンクリートや鉄からなる残管等がある。

■高度浄水処理

通常の浄水処理では十分に対応できない臭気物質、トリハロメタン前駆物質、色度、アンモニア態窒素、陰イオン界面活性剤等の処理を目的として、通常の浄水処理に追加して導入する処理のこと。代表的な高度浄水処理の方法としては、オゾン処理法、活性炭処理法、生物処理法及びエアレーションがあり、処理対象物質等によってこれらの処理方法が単独または複数の組み合わせで用いられる。

サ 行

■再生アスコン

回収した旧アスコンに再生用添加剤や新アスコンを加え、室内で混合調整したアスコンのことをいう。

■再生砕石

コンクリート塊、アスファルト塊及び他の廃棄物を利用し、循環資源のみで製造されている砕石をいう。品質確保・向上のため新材を混入することが多い。ただし、新材の混入率は50%以下。

■残留塩素

水道水に注入した塩素が、消毒効果をもつ有効塩素として消失せずに残留している塩素のことであり、水道法により残留塩素濃度は、給水栓の水で0.1mg/L以上を保持するように義務付けられている。

■自己水源

自ら開発し確保する水源。

■資本的収支

収益的収入および支出に属さない収入・支出のうち現金の収支を伴うもので、主として建設改良及び企業債に関する収入や支出である。

■収益的収支

企業の経常的経営活動に伴って発生する収入とこれに対応する支出をいう。

■伸縮可とう管

配水池などの構造物に接続する配管を、地震等による不等沈下、振動による破損を防止する目的で開発された、配管材。

■水道事業（上水道事業）

一般の需要に応じて、計画給水人口が100人を超える水道により水を供給する事業をいう（水道法3条2項）。計画給水人口が5,000人を超える水道によるものは、慣用的に上水道事業と呼ばれている。

■水道未普及地域

水道事業の計画給水区域（給水が義務付けられる区域）に含まれない地域全体を示す。

たとえば、100人以下の集落水道や自家用井戸で生活用水を確保している地区などが該当する。

■水道ビジョン

2004年6月、厚生労働省より公表された、水道関係者共通の政策目標と実現のための施策。これを基に、水道事業者が自らの事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を示したものを「地域水道ビジョン」という。

■水道モニター制度

消費者に水道事業の現状を知らせることにより、意見・提言を受け、よりよい水道事業経営を目指すことを目的とした制度。ある一定期間任命された消費者をモニターという。

■石綿セメント管

石綿繊維（アスベスト）、セメント、硅砂を水で練り混ぜて製造したもの。人体内へのアスベスト吸入による健康への影響が問題となり、現在、製造が中止されている。

■専用水道（事業）

寄宿舎、社宅、療養所等における自家用の水道や水道事業・簡易水道事業以外の水道であり、100人を超えるものその居住に必要な水を供給するものをいう。ただし､他の水道から供給を受ける水のみを水源とし、かつ、その水道施設のうち、地中または地表に布設されている口径25mm以上の導管の全長が1,500m以下で水槽の有効容量の合計が100m^{3}以下の水道は除かれる。

■損益勘定留保資金

資本的収支の補てん財源のひとつで、当年度損益勘定留保資金と過年度損益勘定留保資金に区分される。

タ 行

■第三者委託

水道の管理に関する技術上の業務の全部または一部を他の水道事業者、水道用水供給事業者または当該業務を実施できるだけの経理的・技術的基礎を有する者に水道法上の責務を含めて委託すること。

■耐震管

耐震管路の定義は、「水道事業ガイドライン」によると、①SⅡ形、NS形、US形、UF形、KF形、PⅡ形等の離脱防止機能付継手のダクタイル鋳鉄管、②溶接継手の鋼管、③熱融着継手水道配水用ポリエチレン管とされている。ただし、K形継手のダクタイル鋳鉄管は、岩盤・洪積層などの良い地盤において低い被害率を示していることから、基幹管路が備えるべきレベル2 地震動に対する耐震性能を満たすものとされており、各水道事業者の判断により耐震管として採用することは可能であるとなっている。

■耐震性能

地震時に施設等が保持すべき性能。地震動レベル、施設の重要度の組み合わせにより決定する。

■耐震貯水槽

地震時の非常用水を確保するために、指定避難場所に設置される飲料水兼用の耐震性を持った貯水槽。地震発生初期に被災者が必要とする飲料水を確保し供給する施設である。

■濁度

水の濁りの程度。水道において、原水濁度は浄水処理に大きな影響を与え、浄水管理上の最も重要な指標の一つである。

■貯水槽水道

ビルやマンション等の高い建築物では、水道管から供給された水をいったん受水槽に貯め、これをポンプで屋上等にある高架水槽に汲み上げてから、各家庭に給水する。この受水槽と高架水槽を含む全体の給水設備を一般的に貯水槽水道という。

■直結給水

需要者の必要とする水量､水圧が確保できる場合に、配水管の圧力を利用して給水する方式。貯水機能がなくなるため、災害、断水、一時に大量の水を必要とする場合の対処が不能となる大規模集合住宅、病院、学校等は、直結給水の対象としない事業体が多い。メリットは水質劣化防止､受水槽の清掃･点検費用が不要、受水槽設置スペースが不要となるため土地の有効利用が可能、配水管の圧力を利用するためエネルギーの有効利用がある。

■TS 継手

硬質塩化ビニル管用継手で、接着剤を受口と挿口の両方に塗って接合する継手である。

■テロ（terrorism）

テロ（テロリズム）とは、一般に恐怖心を引き起こすことにより、特定の政治的目的を達成しようとする組織的暴力行為、またはその手段を指す。現代では行政組織・国家権力・社会・文明に対する過激派の暴力行為・冒険主義をさす事例が多く、最近ではその動機が多様化し、攻撃目標も要人から一般市民に変わってきている。

ナ 行

■内部留保資金

減価償却費などの現金支出を伴わない支出や収益的収支における利益によって、企業内に留保される自己資金のこと。損益ベースでは将来の投資資金として確保され、資金ベースでは資本的収支の不足額における補てん財源などに用いられる。

ハ 行

■パブリックコメント（public comment）

政策立案段階において､その立案に係る政策の趣旨、内容等を公表し、市民等から意見等を募集し、提出された意見等を考慮して意思決定を行うとともに、意見等に対する市の考え方を公表すること。

■負荷率

1 日最大給水量に対する 1 日平均給水量の割合を表すものであり、水道事業の施設効率を判断する指標のひとつである。数値が大きいほど効率的であるとされている。

■ホームページ（homepage）

ホームページという言葉は本来、ウェブブラウザを起動した際に表示されるウェブページの事を指す。しかし、日本国内では、ホームページと呼ぶ場合、「ブラウザのホームボタンに登録されたウェブページ（本来のホームページの意味）」よりも、「ある特定のウェブサイトのトップページ」、「ウェブページ」、「ウェブサイト全体」を指して使う傾向にある｡要するに、

ウェブブラウザを通して見る物を全般的に「ホームページ」とひとくくりにするのに近い形で使われる。

マ 行

■膜ろ過設備
逆浸透膜、限外ろ過膜、精密ろ過膜、イオン交換膜、透析膜などにより水中の不純物を分離する水処理設備。

■マニュアル（manual）
手引書または取扱説明書。

■水安全計画
安全な水の供給を確実にするために、食品製造分野で確立されている HACCP（食品の衛生管理の方式）の考え方を導入し、水源から給水栓に至る各段階で危害評価と危害管理を行い、水道水の安全性を一層高め、安心しておいしく飲める水道水を安定的に供給していく水道水質管理システムのことを言う。

ヤ 行

■有効率
有効水量を給水量で除したもの。水道施設及び給水装置を通して給水される水量が有効に使用されているかどうかを示す指標であり、有効率の向上は経営上の目標となる。

■有収水量
料金徴収の対象となった水量及び消防用水などの他会計から収入のあった水量。

■有収率
有収水量を給水量で除したものであり、施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかどうかが確認できる。

ラ 行

■ライフライン（lifeline）
本来の命綱、生命線という意味から派生し、電気、ガス、水道など、市民生活に必要なものをネットワーク（ライン）により供給する施設または機能のこと。これらに通信や輸送などを加える場合もある。

串間市水道ビジョン

平成 22 年　月

企画・編集　　　串間市　水道課

〒888－0001
宮崎県串間市大字西方 9363 番地 1
TEL：0987-72-1355　FAX：0987-72-1357